

### 30【P2】 I -347

無脊椎動物由来糖脂質の合成研究 (21) ケガニ *Erimacrus isenbeckii* 由来の糖脂質(2)

○ 椛 義和<sup>1</sup>, 羽田 紀康<sup>1</sup>, 竹田 忠紘<sup>1</sup>, 杉田 陸海<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 共立薬大, <sup>2</sup> 滋賀大・教育学部)

【目的】無脊椎動物由来糖脂質の合成研究の一環として、節足動物門に属するケガニ *Erimacrus isenbeckii* より見出された糖脂質の合成を試みた。この糖脂質は、新規な糖鎖配列を持ち、構造的に興味深く、今回のターゲットとした。

【方法・結果】我々はこれまでに、合成上のキーポイントとなる Man $\beta$ 1-4Glc の構築を、Intramolecular nucleophiles 法について報告した。今回この方法により合成したマンノースの3位水酸基を遊離とした Man $\beta$ 1-4Glc 誘導体に、Gal 誘導体及び Gal3Me $\alpha$ 1-4Gal 誘導体を糖供与体として合成し、縮合を試み、三糖、四糖誘導体に導いた。続いてこれらの保護基をすべてエステルとした後、アノメリック位をイミデートに変換して糖供与体とし、セラミド誘導体と TMSOTf をプロモーターとして選択し縮合した。三糖セラミドは脱保護して目的糖脂質に導き、四糖セラミド誘導体は、現在脱保護を検討中である。

